

令和元年度

特別養護老人ホーム
岱山苑

事業報告書

令和元年度

岱山苑

ショートステイ

事業報告書

1. 特別養護老人ホーム岱山苑 事業報告

・利用者の状況

令和元年度は、入所者平均年齢88.9歳、平均要介護度4.2、前年度以上に介護度、医療度が高い方の入所も増え平均在苑期間は3年1ヶ月。家族との面談やサービス担当者会議を意識し、早い段階での入所者・家族との関係づくりにも、より一層力を入れた1年であった。

新規入所は年間27件（前年度23件）で、月に平均2.2名が入所されており、待機者数については要介護3以上が約50名と年々減少傾向にある。一方、退所は年間29件（前年度20件）のうち苑内での看取りは16名、入院治療中に亡くなられた方が13名。

入退院年間総件数は115件であり月平均9名が何らかの動きのある中で、年間充足率は平均95.4%となった。

入所待機期間の短縮と空床日数を減らすよう早めの入所調整を図ったが、待機者の中でも医療ニーズが高い利用者が上位を占めており、人員不足（看護職）により調整しにくい時もあった。

2. 主な取り組み

・全棟居室改装工事が終了。

工事中の騒音や居室調整で、利用者に不便な点もあったが、完成を楽しみにされる声や新しくなった居室を見て大変喜んでおられた。

・令和元10月～特定処遇改善加算の算定。

資質向上、処遇改善、見える化、またICT活用としてタブレットを導入し、健康管理、介護記録を中心に使用。事務負担軽減、業務省略化だけでなく、データ等を活用し質の高い介護へと繋げていきたい。

・行事関係

岱山苑の一大イベントの夏祭りを秋祭りへ移行。秋らしい雰囲気の内容や屋台メニューの工夫等が今後の課題となっている。

・「動き出しは当事者から…」有明広域リハPTが苑に来苑し、対象利用者を選定。移動動作等において利用者本人ができる動きに気づく取り組みを実施。新型コロナウイルスの影響により現在中止中。

3. 新たな課題

・人材育成とサービス、資質の向上。

・利用者の感染予防と心のケア（新型コロナウイルス感染予防）

行事や面会等、外部との接触を控えてもらっている。行事内容の見直しや面会のパターンを増やす等、検討中。